

大菩薩嶺山行報告書（スノーハイキング）

（山域） 大菩薩連嶺

（コース） 裂石温泉～上日川峠～大菩薩峠～大菩薩嶺～丸川峠～裂石温泉

（日時） 2月28日（土曜日）

（天候） 晴れ（若干の霞みあり、富士山・南アルプス見える）

（参加者） CL：内堀（記録）・岸野・時田

（山行タイム） 裂石温泉 8:45～上日川峠 10:20～大菩薩峠 11:40～大菩薩嶺 13:10～丸川峠 14:15～裂石温泉 16:0

（山行報告）

5:40 待合わせで蘇我駅東口集合して、岸野さん・時田さんに乗せ出発する。

参加予定であった小原さんは風邪になり急遽不参加、3名での山行となる。松ヶ丘ICから首都高の錦糸町から箱崎に掛けて若干の渋滞に巻き込まれながらも、中央道を進み勝沼ICを降りて裂石温泉上の駐車場に到着したのが、8:20頃と早く付いた。

身支度を済ませ出発するが、雪が少ない千石茶屋を過ぎ登山道に入るものの一向に雪が表れないこのまま続くのかと思いつつ登り続けると30分程度で日陰部分に雪（氷）が出現した。歩き難いそうおに滑っている。他のパーティもアイゼンを装着しているため、皆で軽アイゼンを装着する。雪のない所は歩きづらいつつ、登り続けるとようやく雪が全面に出てきて、何時も見慣れた景色が見え始める。上日川峠に到着する。バス停前はロッジ長兵衛前のベンチで休憩に入る。4/中～1/上までは車でこの上日川峠まで来てしまえるため、簡単に登れる山として人気がある。本日はかなり人が入っているようで、このロッジも本日オープンしていた。水分補給・行動食を取り、何枚か写真に収め気を引き締め出発となる。



林道を大菩薩峠に向かうと10分程度で福ちゃん荘に到着（ここも営業していた。）更に進むと富士見小屋・勝緑荘を抜け登山道に入る。小屋の営業はしていなかった。更に登り進むと遠くに小屋が見え始める。多分介山荘だなーと思いと少しと感ずる。時田さんは登山靴を購入して今回初めてであり、少し慣れないようであり苦労していた。大菩薩峠は風が少なく、この場所にて昼食とした。富士山・南アルプスが良く見える。先週の三つ峠に比較して若干の霞みがあり、透き通るほどでもない。残念である。昼食を済ませ、写真にこの景色を収め、大菩薩嶺に向かう稜線をバックに皆で写真を撮る。



この稜線を登ると賽ノ河原に出る。富士山・南アルプス・右側奥には八ヶ岳・金峰山が良く見える。本日もラッキーだなと思う。神部岩・雷岩を抜け大菩薩嶺に到着。ここは、100名山の中で景色が見えない場所として有名である。(恵那山と大菩薩嶺のみである。)

多分途中の景色が素晴らしいので選ばれたのだろーと思う。本日、朝の出発が早かった為、時間に余裕がある。丸川峠に向かうことを皆様に告げる。急いで集合写真を撮り出発。



丸川峠に向かう道は日陰部分が大半のため、雪は多く寒さを感じた。1時間程度で丸川峠に到着丸川峠も営業していた。去年は全て営業していなかった。土曜日・日曜日は営業しているのだろーと思った。ここで最後の休憩と皆さんの写真と景色を収め出発する。

ここ丸川峠から裂石温泉までは日当たり良好の稜線のため、雪がほとんどない。いきなり急斜面で土道は嫌だなーと思う。グチャグチャである。靴・アイゼンが泥まみれ・葉っぱまみれである。可哀そうである。20~30程度下った所で早々と、軽アイゼンを外す。

早々とアイゼンを外したため、下山途中日陰部分では氷部分が出現し、下りに時間を費やしてしまった。慎重に下山を続けると堰堤を発見。みそぎ沢である。林道が出てきてあと少しで到着するため、早足になり車を見た時にはホッとした。変な所に置いたため、車が無事であった事が一安心である。車を駐車所場で戻し、帰り姿態をして出発。

裂石温泉の下にある大菩薩の湯は現在、ボイラー修理のため営業はしていない。勝沼ぶどうの丘にある、天空の湯に向かい汗を流し、帰路に着く。

本日も中央道はガラ空きであり、石川PAで休憩しても8:20頃には松ヶ丘ICに到着した。車が空いているのは楽であるな。来週も空いている事を祈りたいと思った。

(大菩薩峠から賽ノ河原方面)



(神部岩周辺からの大菩薩峠方面)



(神部岩から大菩薩湖・富士山)

(神部岩標高指標)



(丸川荘撮影)

(丸川峠から富士山方面)



以上